

ペガールボール実践後の評価アンケート

都道府県名	岩手県		学校名	岩手県立盛岡視覚支援学校		
【実践1】						
所属	障害種（視覚障害、知的）（ 中・高等 ）学部（ ）科（ 1～3年 ）年 グループ名（ ）					
教科・領域等	教科・領域等名（体育） ・ 行事名等（ ）					
実践内容	ゲームの時間設定	（ 1 ）分	1ゲームの人数	全体（ 6 ）人 1チーム（ 2～3 ）人		
	場 所	体育館	使用した広さ	1 直径7～8m 2 体育館全体		
	参加児童生徒数	6名		指導者数	6名	
	ルール	1. 止まっている人に一人10個所持し、何球つけられるか 2. 逃げる人に1分以内に何個つけられるか。				
	ゲーム上の配慮点	<ul style="list-style-type: none"> 見えにくい生徒には、音の鳴るものを手に持って鳴らす。 周りとはぶつからないように、教員の配置を決める。 				
	全体図・動き（図で示す）	<p>距離は2～3m</p>				
評価	ゲームの様子 （幼児児童生徒 教員）	<ul style="list-style-type: none"> 止まっている人に投げてつけるのは、まっすぐ投げる難しさと、高さの調節が難しそうに感じたが、上手につけられた時はとても嬉しそうだった。 逃げる相手には、追いかける楽しさや動く相手につける喜びを感じたようだ。 				
	感想（評価と課題）	<ul style="list-style-type: none"> 見えづらい生徒は音を頼りにするが、玉がついたのか、つかなかったのかが分かりづらかったようで、音が鳴るようなボールにするなど配慮が必要だと感じた。 動きを入れる場合は周りの生徒とはぶつからないようにと、落ちているボールを拾うことに時間がかかる場合は教員が支援する必要がある。 				

実践の様子の写真(コメントを入れてください)

見えやすさによって距離を変えて止まっている人に投げています。見えづらい生徒には鈴などで音を鳴らして知らせていました。



教員や生徒が着て、制限時間を決めて音を鳴らしながら歩きました。

